

「縄文シティサミットinとうや湖」プレサミット第8弾

縄文講演会

貝塚からみる縄文人の暮らし ～松島湾沿岸の漁りのムラ・里浜貝塚～

里浜貝塚は、宮城県の松島湾に浮かぶ最大の島「宮戸島」にあります。松島湾沿岸には縄文時代の貝塚が密集していて、中でも里浜貝塚は日本最大級の規模を持ちます。縄文時代前期(約6800年前)から弥生時代中期にかけての集落跡で、4000年以上に及び、海に暮らした縄文人の営みが残されています。

2024年
8月25日(日)

13:30～15:00
開場 13:00～

場所 入江・高砂貝塚館
講師 奥松島縄文歴史資料館
文化財専門官
菅原 弘樹 氏

参加無料 **申込不要**

アクセス 入江・高砂貝塚館
洞爺湖町高砂町44-12

地図上の「P印」の駐車場をご利用いただけます
JR洞爺湖駅から徒歩10分
虻田地区コミュニティバス「入江・高砂貝塚館」バス停すぐ
道南バス「高砂広場」バス停から徒歩5分

東松島市は、10月7日に洞爺湖町で開催される「縄文シティサミット」の参加都市です！